

## 日本学術会議主催学術フォーラム

「科学・技術を担う将来世代の育成方策を考える—教育と科学・技術を価値創造につなぐために—」

1 開催時期：平成 25 年 8 月 12 日（月）13:30～17:30

2 開催場所：日本学術会議講堂

3 開催趣旨

日本学術会議課題別委員会：科学・技術を担う将来世代の育成方策検討委員会は、将来の日本の科学技術を担う人材の育成のための方策、活動などが、全体として効果的・建設的な方向性をもっているとは言えない状況を検証し、平成 25 年 2 月に「提言：科学・技術を担う将来世代の育成方策」を公表した。その要点は、①初等教育、中等教育、高等教育、さらに生涯教育の間の連携と橋渡しの強化、②専門的研究者・技術者の育成、③ポスドク等の専門的研究者・技術者の活躍を支援するための社会システムの構築等である。

一方、これまでも様々な人材育成についての議論がなされ、報告書が出されているが、それらが実効ある大きな流れとなっていないのは、それらの諸施策をつなぐ仕組みと全体のビジョン、及び司令塔の機能が弱いことに原因があることも、提言では指摘している。

21 世紀におけるわが国の持続的発展の実現のために、科学・技術の継続的革新と、それを担う次世代人材育成に向けた教育の強化によって、新しい社会経済的価値の創造、すなわち、より豊かで調和ある社会の創造を進めることが重要である。

そのような観点から、上記の「提言」では、教育の各段階の橋渡し（科学技術を担う人材と科学技術と社会との関わりについて判断できる人材の育成、各教育段階における科学技術イノベーション教育との一体的推進）、専門的科学技術人材の活躍のための社会基盤（キャリア支援、セーフティーネット構築、人事交流）等に係る各政策の一体的振興策を提案している。

今回のシンポジウムでは、本提言の報告と共に、科学・技術を担う研究者、技術者、産業界をつなぎ、また人材育成の各段階（初等-、中等-、高等-、生涯教育）、を担う教育界、関連行政界、産業界も含めた様々な関係者が一堂に会して、次世代の科学技術を担う人材育成に対する理解、共感、協働の強化と、そのために必要なインフラの整備などについて議論をし、本課題に対する社会の認識と理解を深めることを目的とする。

4. 次第:

13:30 開会挨拶 金澤 一郎 (日本学術会議連携会員・日本学術会議元会長)

13:40 講演 教育と科学・技術を価値想像につなぐために

司会 北原和夫 (日本学術会議特任連携会員・東京理科大学教授)

I. 提言「科学・技術を担う将来世代の育成方策～教育  
と科学・技術イノベーションの一体的振興のすすめ～」

柘植綾夫 (日本学術会議連携会員・日本工学会会長)

II. 初等・中等教育と各教育段階を結ぶ橋渡し構造

上野耕史 (日本学術会議特任連携会員・国立教育政策  
研究所調査官)

III. 大学院博士課程修了者を活用する社会とそのための教育の充実

谷口直之 (日本学術会議連携会員、理化学研究所グループ  
ディレクター)

IV. 教育学及び教育現場からの課題

佐藤学 (日本学術会議会員・学習院大学教授)

15:40 休憩

15:50 パネルディスカッション

モデレーター：室伏きみ子 (日本学術会議会員・お茶の水  
女子大学寄附研究部門教授)

登壇者：上野耕史、北原和夫、佐藤学、谷口直之、柘植綾夫

17:20 閉会挨拶 北原和夫 (日本学術会議特任連携会員・東京理科大学教授)

【問い合わせ・申し込み先】

申込先: 日本学術会議事務局企画課学術フォーラム担当

〒106-8555 東京都港区六本木 7-22-34

TEL : 03-3403-6295 FAX : 03-3403-1260

申込みフォーム : (<https://form.cao.go.jp/scj/opinion-0003.html>)